2018/01/16(火)　電波新聞

5 面掲載「エレクトロニクス商社 18 年の経営戦略 ～ 独創的な事業を推進 ルネサス製スマートアナログを使い IoT ソリューション開発」記事

7 面掲載「超高感度 LoRa 変調方式対応 SLR-429M 発売中‼」 広告

明光電子

十川　正明社長

十川　社長

独創的な事業を推進

ルネサス製スマートアナログを使い IoT ソリューション開発

明光電子の経営理念には「我々の仕事は人まねではなく、人のやれないこと、難しいことに挑戦し、世の中に役に立つ新しい製品を生み出すための開発促進業である」とある。人まねではない独創的な事業に取り組むことで顧客に喜ばれ、顧客との長い信頼関係を創り、社会に貢献しようというものだ。

同社は半導体・電子部品の調達から技術サポート、製造、検査までを一括サポートしているエレクトロニクス商社。その理念通り、IoT化の開発に必須となるセンサー技術、無線技術、開発プラットフォーム評価キットなどを活用した独創的なアプリケーションの開発に取り組んでいる。ルネサス製マイコン「スマートアナログ」を使ったセンサーアプリケーションに適する無線通信規格。センサーやGPS情報など比較的小規模な情報を低消費電力で429メガヘルツによる長距離伝送が可能。

スマートアナログは、複数種類のセンサーやドライバーへの対応を想定し、回路構成および特性の変更をソフトウエアで設定できる製品群。マイコンからの制御で回路構成や特性が簡単に変更でき、これまで熟練者のスキルやノウハウ頼りで、開発工数がかかっていたアナログ回路設計を大幅に改善する。温度センサーなどの各種センサーアプリケーションに適する。

十川正明社長は「スマートアナログを応用したアプリケーションが広がっている。実証実験も様々手がけている。18年はこれらが実を結ぶ」と期待する。

「LoRa低電力長距離無線IoTソリューション」を開発した。LoRaはスペクトラム拡散変調の採用によりノイズや干渉に強く、秘匿性に優れ高感度で堅ろうなネットワークリンクを実現する。

端末に温度・湿度、気圧、CO_2センサーを実装し、スマートアナログRL78-G13搭載の無線モジュール、IoTゲートウエイを介してクラウドを活用する。

IoTエンジン、スマートアナログの組み合わせによるIoTソリューションも提案する。

トロンフォーラムにより標準化が進められているクラウド上のIoTエンジンと接続により、同エンジン機器間の連携やクラウドサービス連携が可能になる。